

クラス番号	630	担当教員名	天池洋介
テーマ	若者の労働と生活の支援 ―若者による若者のエンパワメント―		
著書・論文	論文：「スウェーデン労働組合の経済政策」『日本福祉大学社会福祉論集(130)』（2014） 「労働組合における〈場〉の機能 ―共存型居場所による多様性のある労働組合の展望―」 『社会文化研究 第17号』（2015） 「アクティブラーニングでスウェーデンと福祉を学ぶ―教室における「私たちの社会」の 再構成をめざして―」 『日本福祉大学社会福祉論集(135)』（2016）		
研究課題等	研究課題：スウェーデンの経済政策、福祉国家制度の研究 労働市場における若者のエンパワメント		

ゼミナール概要

キーワード：仕事、労働、就職活動、労働組合、若者、カルチャー、居場所、共同、社会的起業

<目的>

若者が元気に働いたり、自己実現するにはどうしたらいいのか考えます。

終身雇用制度が大きく揺らいで、同時に若者を中心にバイトや派遣などの非正規雇用が急速に広がっています。本来、健康で元気があり、他の世代よりも仕事ができるはずの若者が、低賃金や劣悪な雇用条件の広がりによって「社会的弱者」とされてしまっています。また、日本は「人生前半の福祉」が大きく遅れており、若者に対する支援がほとんどなされていないため、若者がその力を発揮することが難しくなっています。

一方で若者が力を発揮している分野や場所では「好き」と「得意」が欠かせません。「好き」と「得意」を活かして、広めることで若者をエンパワメントし、居場所をつくり、組織化することで、社会問題を解決する力を得る方法を考えます。また、みなさんの「好き」と「得意」を様々な形で応用できるように、とことん極めてもらいます。

<内容・授業計画>

3年の前期では人を励ますコミュニケーション方法や、人と人と結びつける方法（コミュニティー・オーガナイズ）、安心できる居場所づくりについて学びます。また、「好き」や「得意」の持つ力について、ファッションや音楽、マンガなどの具体的な素材を通じて考察します。自分の「好き」や「得意」を突き詰めて考えてもらい、社会問題解決への応用の可能性を考えます。実践の場として、「アルバイト相談会」もしようかなと思っています。

3年の後期では、前期で学んだことを実際の若者の状況に適用し、「好き」や「得意」を活かすための、共感による若者支援の方法について考えます。また、その応用事例として「ブラックバイト予防キャンペーン」を考えたいと思っています。

4年は卒業論文を書きます。卒業論文は、自分の興味のあるテーマを自分で探して、とことん追求して考え、客観的な資料で裏付けて、わかりやすく伝えてもらいます。

<方法>

グループ・ディスカッションとグループ作業が中心です。自主学習と共同作業を両輪として進めていきます。

本ゼミの研究対象は皆さん自身、もしくは皆さんの日常生活です。マンガや雑誌、音楽や動画、おしゃべりやバイトなどが研究対象です。皆さんが何気なく過ごしている日々を理論的・客観的にとらえ、課題を抽出していきます

社会運動の立場からの応用を考えていますが、人事・労務・人材開発・起業・まちづくりといったビジネスの観点からの応用も考えて欲しいです。

担当教員からのメッセージ



エントリーシートには、1)今の若者の抱える困難と今の若者の良い点、2)自分の好きな音楽やファッション、マンガ、スポーツなどについて、その理由も含めて「熱く」書いてください。連絡先にはメールアドレスも記載してください。質問があったら、メールをお願いします。

オリエンテーションやゼミ見学と、個別相談に「必ず」参加してください。

フィールドワークは夏期休暇中に広島県尾道市に行く予定です（参加は任意）。また、愛知県内のカフェや雑貨屋、福祉の現場などの調査や、卒論を書くための合宿もします。

「楽なゼミ」ではなく、「楽しいゼミ」にしたいと思っています。いろいろな人と話し合い、学びあい、共感しあって、クオリティの高いものを作り上げていく。そんな楽しい経験を自信に変えて、社会に乗り込んでもらいたいです。